

「青少年のための科学の祭典ひょうご県内大会」のご報告

はら としお
ひょうご県内大会連絡協議会委員長 原 俊雄

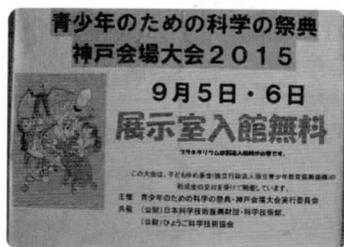
阪神・淡路大震災直後に始めました「青少年のための科学の祭典ひょうご県内大会」も21周年を迎え、神戸会場は9月5日(土)、6日(日)にバンドー神戸青少年科学館で開催されました。

会場には58テーマでステージやワークショップ・ブースで実験や工作が行われ、各所とも人だかりが絶えないほど活況を呈し、多くの家族連れで賑わっていました。

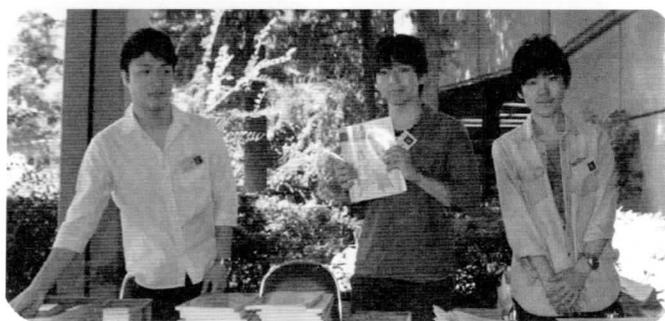
なお、くさの会関係者によるブースは以下の通りです。

- 木戸健二さん(化学21期) 人と化学をむすぶ会々員 『灯っているローソクにコップをかぶせると?』
 - 中西敏昭さん(修生8期、生物20期) 関西学院大学勤務 『台所の煮干しから海の環境を考えよう』
- また、神戸大学に関するブースは以下の通りです。
- 神戸大学附属中等教育学校科学研究部(前期課程) 『世の中に隠された光～卵の光を解き放て!～』
 - 神戸大学附属中等教育学校科学研究部(後期課程) 『風船ホバークラフトで遊ぼう』
 - 大学院工学研究科技術室 『金メダルを作ろう、夢の東京オリンピック』
 - 大学院工学研究科技術室と理学研究科化学専攻他 『ねつを「見て」みよう』

また、私は、環境放射線と自然エネルギーをテーマに講演しました。



スタッフの皆さん (筆者:前列中)



受付された学生の皆さん

ひょうご県内大会会場		(来場者総数: 15,048名)	
丹波会場	7月26日(日)	ショッピングセンター ゆめタウン	692名
豊岡会場	8月1・2日(土・日)	市立八条小学校・八条地区公民館	882名
北はりま会場	8月2日(日)	多可町中央公民館	626名
東はりま会場	8月22・23日(土・日)	兵庫県立東播磨生活創造センター	1,577名
姫路会場	8月29・30日(土・日)	兵庫県立大学姫路工学キャンパス	1,957名
淡路会場	8月22・23日(土・日)	アルクリオ	985名
神戸会場	9月5・6日(土・日)	バンドー神戸青少年科学館	8,329名



人と化学をむすぶ会のブース(左から3人目:木戸さん)



関西学院大学のブース(左から3人目:中西先生)

ステージ・ブースのーコマ

